

科目名 核医学検査技術学Ⅱ

1単位 30時間 昼間部2年 後期 担当講師 阿部 克弘

教育目標

核医学検査は放射性医薬品を用いて臓器の機能を基に病態の解明を行う検査である。検査の目的、成立機序、放射性医薬品の代謝などを臓器ごとの各検査として学習し、得られた情報の解析と評価ができる基礎的な知識を修得する。

使用教材 プリント、スライド

推奨参考書 核医学検査技術学 日本放射線技術学会監修 オーム社

出欠確認方法 点呼 試験 有 評価方法 試験

授業概要（後期）

- 1回 肝シンチグラフィ、肝・胆道シンチグラフィ
- 2回 消化管出血シンチグラフィ、唾液腺シンチグラフィ、メッケル憩室シンチグラフィ
- 3回 腎シンチグラフィ
- 4回 副腎シンチグラフィ
- 5回 骨シンチグラフィ、骨髄シンチグラフィ
- 6回 リンパ管シンチグラフィ、センチネルリンパ節シンチグラフィ
- 7回 腫瘍・炎症シンチグラフィ
- 8回 その他のシンチグラフィ
- 9回 インビトロ検査
- 10回 腫瘍FDG-PET検査
- 11回 その他のPET検査
- 12回 核医学治療
- 13回 画像評価
- 14回 性能評価と保守管理
- 15回 まとめ

【実務経験】

病院の核医学検査部門やPET 検診に10年以上従事した臨床経験をもとに、核医学検査技術について授業を行います。また、核医学専門技師としての知識や臨床で研究した内容なども織り交ぜて講義を進めていきます。